

出張報告書

平成30年 7月13日

市議会議長 京西 且哲 様

会派名 公明党

代表者氏名 米田 貴志

下記のとおり報告します。

記

- 1 目的 全国地方議会サミット2018へ参加
- 2 出張先 東京都新宿区
- 3 出張期間 平成30年7月11日（水）～7月12日（木）
- 4 出張者氏名 米田貴志、南加代子、友永 修
- 5 てん末報告 別紙の通り

公明党（会派）行政視察レポート

報告者

友永 修

視察先	東京都新宿区	テーマ	全国地方議会サミット 2018
日 時	平成 30 年 7 月 11 日（水）13 時～17 時 30 分 12 日（木）9 時 30 分～16 時		

少子高齢化、人口減少など、深刻な課題が自治体に突き付けられている。その中で、議決権をもつ議会は、魅力的な地域づくりを行うための重大な責任と豊かな可能性を持っている。早稲田大学大隈記念講堂に先進的な議会が集結し、政策で地域に貢献するための実践について議論され、「地方創生時代を議会がリードする」そんな新時代への大きな場面転換の場になるよう、これから議会のあり方について研修を受けました。

▽プログラム

一日目

- ・基調講演「地方議会から日本を変える」
北川正恭早稲田大学名誉教授
- ・特別講演「地方創生の展望」安田総務省事務次官
- ・講演「イカツン「真の地方創生とは何か」
地方創生と地方議会の役割/片山義博早稲田大学教授
震災復興と地方創生/大西一史熊本市長
- ・課題整理「地方創生時代に求められる議会力」
江藤俊詔山梨大学教授
- ・パネルディスカッション
「議会力強化のための、議会事務局の変革」
小林宏子東京都羽村市議会事務局長
清水克士滋賀県大津市議会局次長
- 進行：千葉茂明 月刊「ガバナンス」編集長

▽プログラム

二日目

- ・先進事例報告①「地方創生をリードする議会へ」
目黒章三郎会津若松市議会議長
子籠敏人あきる野市議会議長
ピアキ・アンリ犬山市議会議長
川上文浩可児市議会議長
進行：広瀬克哉法政大学教授
- ・先進事例報告②「政策を実現する議会へ」
尾崎大介東京都議会議長/条例ニフェストと議会改革
松本研横浜市長/議員提案条例による政策実現
・講演「海外の議会制度から議会の多様性を考える」
中林美恵子早稲田大学教授
- ・パネルディスカッション「多様性ある議会に向けた実践と課題」
本間まさよ武藏野市議会議長
岩永ひさか多摩市議会議長
白川静子茅ヶ崎市議会議長
南千春榛東村議会議長（ピティオマセゾ）
進行：中村健早稲田大学ニフェスト研究所事務局長
- ・提言、総括「政策型選挙の実現に向けて」

講演では、「地方創生とは、「出生率アップ」と「若者の人口流出の歯止め」である」と言われていた。対策である、国からの政策が地方の課題に合致しているかどうかを議論する事が議会の役目であるとも。プレミアム商品券を例に語られており、全ての地域には合致していないとの事。しかし、世間（住民）の声とのバランスもあると思いますので、商品券の例えはいかがなものかと感じた（私見）。

興味をひいたのは、2040年を見越し、総務省で検討されている、連携中枢都市圏の形成でした。圏域体でのマネジメントを進める方向性ですが、体裁の良い弱小自治体の切り捨てになるのではと非常に懸念される。これについては、もっと詳細について調査確認し議論をしていきたいと思います。